

第4章 ビジョンの実現に向けて

1 市民の理解と参加

このビジョンは、市民と企業、行政などが「人づくり」を展開するための新たな指針を示したものであり、市民の皆さんの自主的・主体的な取組と様々な場での連帯・協働によって推進されるものです。ビジョンの実現に向けては、家庭や地域、幼稚園・保育所、学校、企業などがそれぞれの役割を十分に果たすとともに、連携・協力しながら取り組むことが不可欠です。そのためには、人づくりの基本理念や各ライフステージにおける目標、それぞれの役割を共有化することが重要です。

すべての市民の皆さんは、家庭や地域、職場、社会の一員として「人づくり」に何らかの形でかかわっています。市民の皆さんが互いに世代を超えて「対話」し、身近なところから「人づくり」についての取組を行うことが大切です。

2 行政の役割

ビジョンの目標や内容について理解を深めるため、行政としては、メディア^(注19)などを活用するとともに、学校、自治会、企業などを対象にした説明会を開催するなどして、市民への普及・啓発活動を推進してまいります。

また、保護者や地域の人々が「人づくり」を自らの課題として取り上げる契機として、宇都宮の人づくりを語り合う市民会議や地域の集会など、自由に意見交換ができる場を設定してまいります。

さらに、取り組む施策の方向性を示した「宇都宮市における施策の展開方向について(別掲)」に基づき、現在策定中の学校教育推進計画、スポーツ振興基本計画、文化振興基本計画などに、このビジョンの理念を反映させ具現化を図るとともに、次世代育成支援行動計画、青少年育成計画など、既存の計画についても改訂の際に「人づくり」の視点から見直しを図り、総合的・計画的に推進してまいります。

(注19) **メディア** 情報伝達手段、マスコミなど。